北朝鮮 初の水爆実験

日本、独自制裁を検討
金正恩氏の権威誇示

水爆実験の実施を発表する朝鮮中央テレビの映像を伝える大型モニター＝6日午後0時33分、大阪・道頓堀

【北京共同】北朝鮮は6日、初の水爆実験を同日午前10時（日本時間同10時半）、「安全かつ完璧に」実施し、成功したと発表した。

「特別重大報道」で明らかにした。4回目の核実験で、金正恩（キムジョンウン）第1書記の体制下では2013年2月に続き2回目。北東部咸鏡北道（ハムギョンプクト）豊渓里（プンゲリ）の実験場で行ったとみられる。核開発技術の「向上」を誇示、関係改善の見通しが立たない米国に無条件対話再開などの譲歩を迫り、金第1書記の権威を高める狙いがある。

水爆実験が事実なら、核戦力の大幅増強となり、国連安全保障理事会決議を無視した強硬姿勢に国際社会の反発は必至。拉致問題解決へ日朝交渉を続ける安倍政権は難しい判断を迫られる。岸田文雄外相は「わが国独自の対応についても検討せざるを得ない」と述べ、日本独自の制裁強化が必要との認識を示した。

朝鮮中央通信によると、金第1書記が昨年12月15日、水爆実験実施の命令を出し、今月3日に最終命令書に署名した。北朝鮮は6日の政府声明で、水爆実験は米国の核の脅威から国の自主権と民族の生存権を守るための「自衛的措置だ」と主張。「米国の対北朝鮮敵視政策が根絶されない限り、われわれの核開発中断や核放棄は絶対にあり得ない」と表明した。水爆実験は「安全かつ完璧に行われた」とし、周辺の環境に影響はないと主張した。

安倍晋三首相は6日、水爆実験について「わが国の安全に対する重大な脅威で、断じて容認できない」と強く非難。日本政府は同日、核実験実施情報に関する官邸対策室を設置。官邸で政府の国家安全保障会議（NSC）の4大臣会合を開催した。

国連外交筋によると、安保理は緊急会合を日本時間7日未明に開催する方向で調整に入った。金第1書記は昨年12月、水爆の保有を表明。豊渓里の核実験場で新たな坑道掘削の動きが確認されていた。

下野新聞
しもつけ
発行所　宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320－8686
下野新聞社
電話 028－625－1111
郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社2014
読者室 028-625-1179
（受付　月～金・午前10時～午後6時）
編集局 028-625-1121
販　売 028-625-1120（販売）
事業局 028-625-1134（事業・教育）
営業局 028-625-1133（広告）
PC・スマホ・携帯でも 下野新聞 検索
下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル 0120－810081
電子号外
下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル 0120-810081
携帯で、スマホで栃木のニュースを!!
下野新聞SOON
月額250円+税
下野新聞 検索